

平成 27 年 10 月 16 日  
 静岡県水産技術研究所  
 資源海洋科

9 月までのシラス漁況と駿河丸シラス調査結果

『要旨』 9 月中旬以降、シラス漁に好転の兆しが見られましたが、駿河丸のシラス調査では、シラスの分布は狭く、カタクチイワシ卵も見られませんでした。

《記事》

○シラス漁は、6 月下旬まで好調でしたが、7 月に入って漁模様は一転して不漁となり、主要 6 港の 7 月水揚量は 31 トン、8 月水揚量は 106 トンでした。この水揚量はそれぞれ 7 月、8 月として昭和 60 年以降最低です。

9 月の水揚量は、上旬 9 トンと極めて低調でしたが、中旬は 72 トン、下旬には 183 トンと増加し、9 月の合計では 264 トンと好転の兆しが見られました。

○水産技術研究所では、調査船「駿河丸」によるシラス調査を毎月 1 回行っています。調査点は、焼津地先、清水地先、大瀬地先、宇久須地先、松崎地先、吉田地先、そして御前崎沖合で、目合約 1mm のネットを用いています。

1 測点当たりのシラス採集尾数は、9 月は 114 尾と低調でした。調査点別に見ると、吉田地先で 740 尾、宇久須地先で 51 尾採集したのみで、他の 5 点では採集できませんでした。また、全調査点でカタクチイワシ卵は採集できませんでした。なお、10 月調査は 10 月 19 日～21 日の予定で行います。

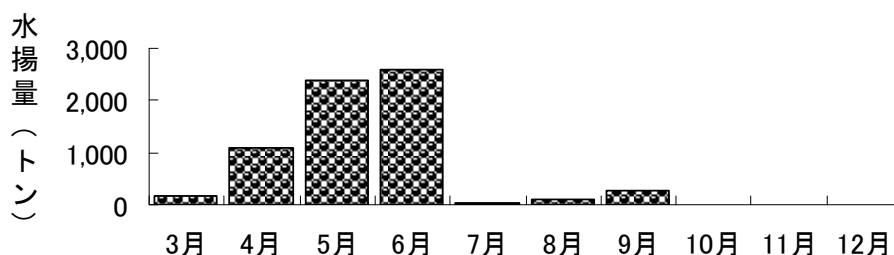


図1 平成27年漁期の月別水揚量 (主要6港)

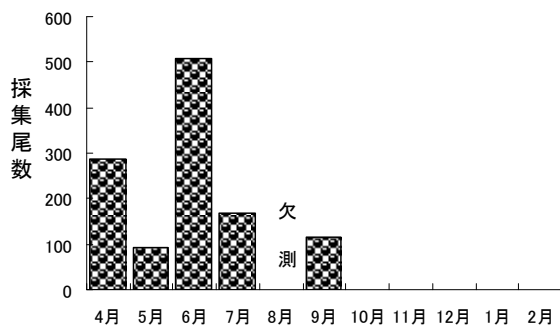


図2 駿河丸9月調査における1測点当たりのシラス採取数

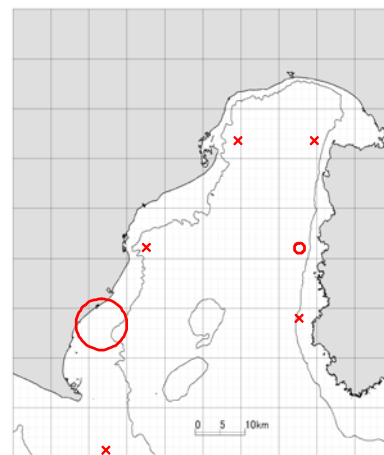


図3 調査点と9月のシラス採集状況